

# 警戒レベルが5段階に

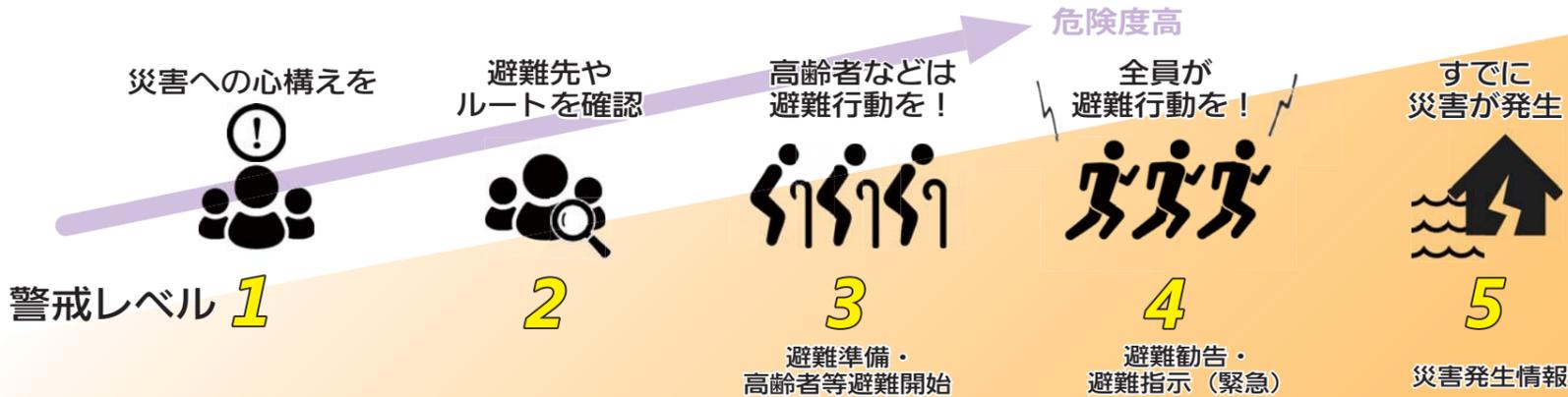
豪雨で土砂災害や洪水の危険が予想される場合に、生き残るための行動を5段階で表示する「大雨・洪水警戒レベル」の運用が、今年5月に始まりました。逃げ遅れによる被害者が出た、昨年の西日本豪雨の教訓を踏まえたもので、

「レベル3」は「高齢者などは避難」、「レベル4」では「全員が避難」など、自分がいつ避難行動をとるべきかの判断がしやすくなります。レベル1・2は国が、3～5は市が発令。2面で紹介した情報入手手段などで、知ることができます。

注目!

## 5段階のレベル表示は新しい運用

5段階の警戒レベルの表示は、新たに始まった運用。そのため、今年3月に全戸配布した「防災ガイド・避難所マップ」には掲載されていません。**「レベル4で全員が避難行動を！」**と覚えてください!

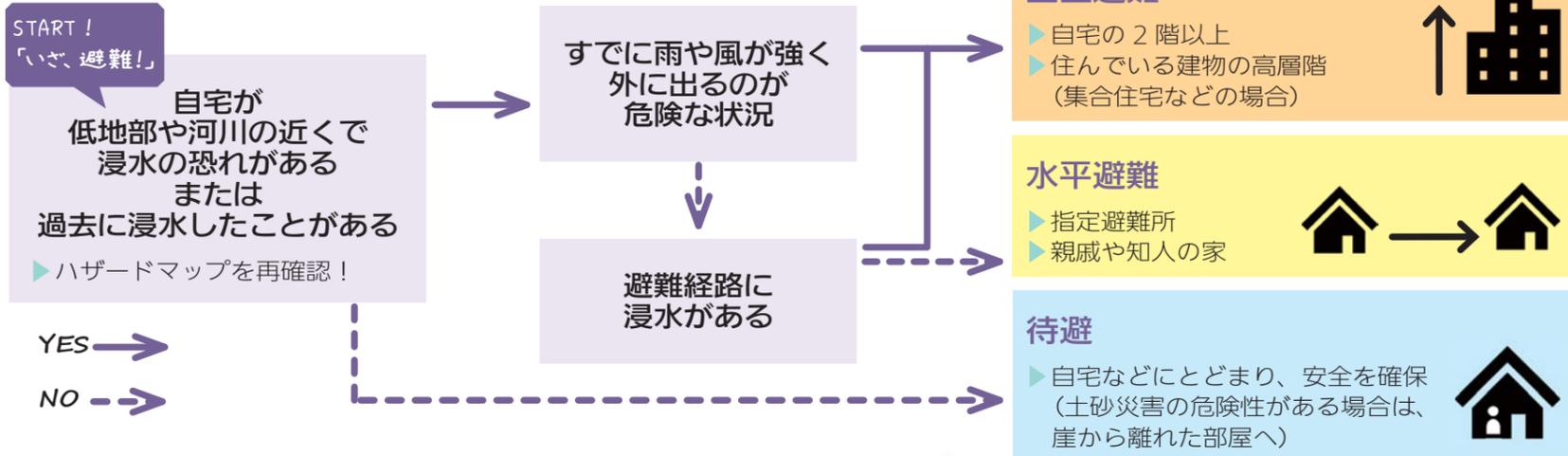


# 3つの避難行動を覚えておこう

「避難行動」は、避難所に逃げることだけではありません。いざ、避難!というとき、**選択肢は垂直避難、水平避難、待避の3つ。**

あらかじめ自宅の位置や避難経路を確認し、どんなときにどの避難行動をとるべきか、心構えをしておくことが大切です。

3つの避難行動から状況に応じて選択!



# わが家の備えは大丈夫?

この機会に、わが家の避難場所や避難経路などを家族で確認しておきましょう。台風の接近など、風水害の危険が迫ってきたら、チェックリストを活用して、備えの状況を再確認!

## わが家の避難場所と連絡先

- 垂直避難の場所
- 避難経路で注意する場所
- 緊急連絡先(名前/電話番号)
- 水平避難の場所

## 台風接近! 風水害対応チェックリスト

- 情報収集の手段を確認した
- 雨戸が閉まるか確認した
- 懐中電灯を手元に準備した
- 避難場所や避難方法、緊急連絡手段を家族で確認した
- 土のうを準備した、または水のうの作り方を確認した
- 避難時の持ち出し品を準備した
  - 携帯ラジオ
  - 懐中電灯
  - 乾電池
  - 携帯用充電器
  - 非常用食料
  - 常備薬・常用薬
  - 健康保険証
  - 通帳・印鑑・現金
  - その他
- 雨どいに枯葉や砂が詰まっていないか確認した
- 浸水に備えて、運べるものは2階など高い所に移した
- 風で飛ばされそうなものを片付けたり固定したりした
- 携帯電話などを十分に充電して手元に準備した